

シンブンジハン、配達管理サービス Delivery Support System を販売開始 シンブンエース Raiz3 と連携

日本新聞自動販売(株)(東京都中央区、代表取締役社長 石川 真司、以下シンブンジハン)は、本日、同社が開発した新聞販売店向け顧客管理システム「シンブンエースRaiz3」と、(株)西日本新聞プロダクツ（福岡市、代表取締役社長 田川大介 通称:西プロ）が開発した配達管理サービス「Delivery Support System（DSS）」の連携機能を新たに開発し、DSSの販売を開始します。

Raiz3の導入実績と信頼性を背景に、DSSとの連携により新聞販売店の業務効率化をさらに推進します。

DSS 連携の経緯と目的

新聞販売店の現場では、業務の複雑化や人材確保の難しさが深刻化しており、業務の効率化と柔軟な運営体制の構築が求められています。シンブンジハンでは、これまで顧客管理システム「シンブンエース Raiz3」を通じて、読者管理や業務の見える化を支援してきました。

Raiz3を導入している販売店からは、日々の業務改善に対する高い評価とともに、配達業務のさらなる効率化を求める声も寄せられており、実際に DSS に関心を示す所長も増えてきています。こうした現場のニーズに応えるべく、シンブンジハンでは Raiz3 と DSS の連携機能を新たに開発し、DSS の販売を開始するに至りました。

この連携により、読者情報と配達状況のシームレスな管理が可能となり、店舗の統廃合やエリア再編といった将来的な運営課題にも柔軟に対応できます。シンブンジハンでは、販売店の現場に寄り添った支援を継続し、業界全体の持続可能な発展に貢献してまいります。

Raiz3 と DSS の連携内容

従来、新聞販売店での配達管理には、Raiz3 と DSS をそれぞれ個別に導入・調整する必要がありました。日々の運用では、Raiz3 から所定形式の CSV ファイルを出力し、DSS のルート作成画面にて日付やファイルを指定して送信するなど、複数の手順を要していました。

今回、Raiz3とDSSの連携機能が新たに開発され、また、両方の商品を熟知するシンブンジハンの担当者が導入を行うことで、販売店の手間を最小限に、Raiz3上の操作だけでDSSの機能を簡単に運用できるようになります。

図：Raiz3でのDSS出力方法



主な連携機能と利便性

- Raiz3のボタン操作で区域を[確定]実行するだけで、配達ルートが自動生成され、すぐにスマートフォンで配達可能
- 配達開始日をRaiz3で設定することで、開始日まで配達対象外とし、開始日に自動でルートを生成（読者から入れ止め連絡を受けてRaiz3に入力しDSS出力すれば、日々の配達ルートに自動反映されます）

さらに、以下のような便利な連携機能も実現しています。

- Raiz3で設定した配達順をDSSに反映（配達順を自動でルート作成する設定も可能）
- Raiz3の留守止め設定により、該当日は配達対象外としてルートから除外
- 造成地などの仮住所の場合、Raiz3で指定した地図座標を優先してルートを作成
- Raiz3の読者メモがDSSのスマホ画面に表示され、現場での確認が容易
- Raiz3で設定した新聞銘柄ごとの部数を出発前に集計・表示し、準備作業を効率化

これらの連携により、Raiz3をご利用の販売店は特別な設定を行うことなく、DSSをすぐに活用可能となり、日々の業務負担軽減と配達品質の向上が期待されます。

Raiz3 と DSS の連携の仕組み

今回の Raiz3 と DSS の連携により店舗スタッフが Raiz3 に入力した情報が、スマートフォンの配達アプリにまで自動的に反映される仕組みを構築しました。これにより、配達メモや入れ止めの情報などを、現場の配達スタッフが即座に確認できるようになります。

連携の流れは以下の通りです(下図)

①Raiz3で読者情報を入力

店舗スタッフが、読者の名前、住所、銘柄、配達メモや入れ止め情報などをRaiz3に登録します。

②[DSS出力]ボタンでクラウドへ送信

Raiz3上の[DSS出力]ボタンを押すことで、PCにインストールされたDSSのプログラムが、Raiz3の入力データをDSSのクラウドサーバーへ送信します。

③毎日設定した時刻にルート自動生成

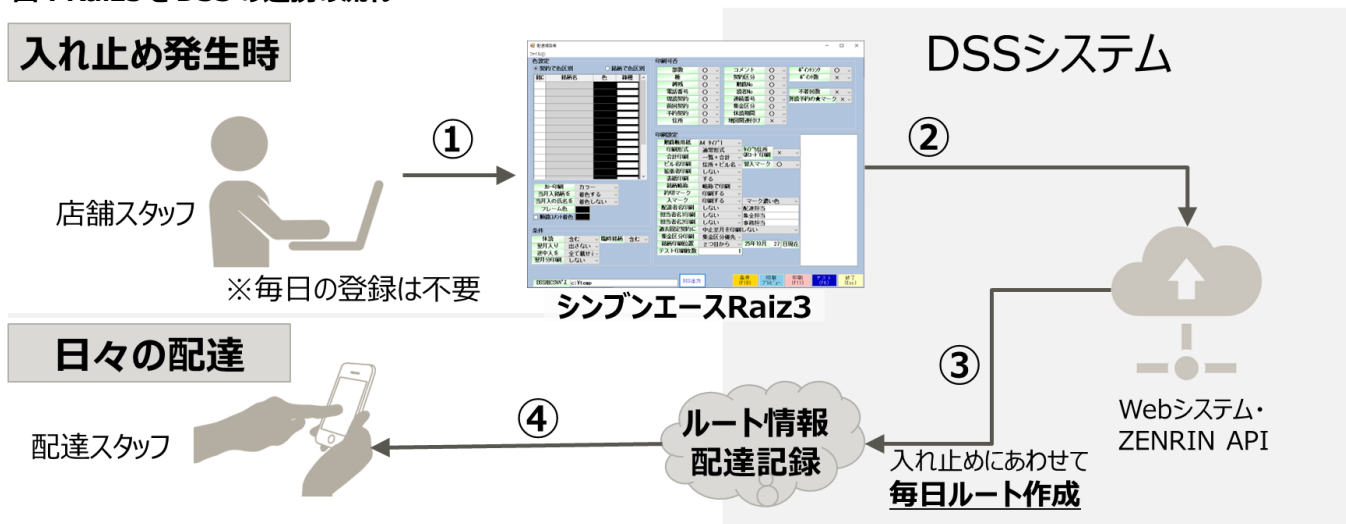
DSSは、ゼンリン社の地図API「ZENRIN API」を活用し、毎日設定した時刻に最新の配達ルートを自動生成。生成されたルートはクラウド上のデータベースに保管されます。

④スマートフォンでナビ開始

配達スタッフはスマートフォンの配達支援アプリで日付とルートを指定するだけで、クラウド上のデータベースからルート情報を取得。アプリが配達先までのナビゲーションを開始します。

この仕組みにより、店舗スタッフはRaiz3への入力のみで配達準備が完了し、配達スタッフはスマートフォンで最新のルート情報を確認しながら効率的に業務を遂行できます。現場の負担を軽減し、配達品質の向上にもつながります。

図：Raiz3 と DSS の連携の流れ



DSS の基本機能(配達管理 PC システムと配達支援アプリ)

DSS は、ゼンリン社クラウド上の最新地図を基盤として、販売店の PC にインストールする配達管理 PC システムと、スマートフォンで配達先をナビゲートする配達支援アプリの 2 つのモジュールで構成されています。

●配達管理 PC システム - 順路マップを自動作成し、配達状況を事務所で確認

それぞれの販売店では、地図を見るだけでは分からない効率的な独自のルートで配達しているケースがあります。このサービスは、投函先の多い新聞配達にも対応してルートを自動作成しますが、一方で順路補正機能により、店舗独自のルートに変更することもできます。このほか、配達スタッフが現在いる場所や作業状況を販売店から Web で確認することで万が一の事故などに素早く対応でき、安心して働ける環境が整います。



●配達支援アプリ - 銘柄・特徴を表示し、ルートマップを見ながら投函をナビで誘導

代配や新規採用の際に順路帳の更新、確認やリハーサルなどの苦勞がありました。このサービスでは、スマートフォンの画面上で銘柄毎の配達部数を確認でき、バイクなどへの積載準備がより容易になります。配達中はマップのナビゲーションで迷わずに配達先に向かうことができ、さらに事前に配達先の写真や建物メモを登録しておけば、分かりにくい初めての配達先でも安心して投函が行えるようになります。



今後の展開

シンブンジハンでは、Raiz3 と DSS の連携により、業務効率化だけでなく、配達スタッフの採用しやすさの向上や、休日の確保といった販売店の働き方改革にもつながる取り組みとして、トライアルの推進を進めてまいります。販売店の皆様に実際の運用を通じてその効果を実感いただけるよう、現場に寄り添った支援を強化していきます。

また、シンブンジハンとしては、これまで以上に販売店の皆様の課題に寄り添い、支援の幅を広げることで、日々の困りごとの解決に貢献できる存在を目指してまいります。

一方、西日本新聞プロダクツは、これまで九州を中心に、販売店に密着した形で DSS を展開してきました。今回、東日本を中心に長年販売店と関係を築いてきたシンブンジハンと、開発・販売の両面で連携することで、販売店に寄り添う姿勢を崩すことなく、東日本への展開が可能となりました。

今後は、まずシンブンジハンの後ろ盾となり、Raiz3 をご利用の販売店への支援を優先的に進めていく方針です。販売店の皆様が安心して導入できる体制を整え、全国規模での展開を視野に入れた取り組みを進めてまいります。

各社概要

日本新聞自動販売 株式会社

本社所在地：東京都中央区日本橋浜町 3-43-2 山名ビル 3F

代表取締役社長：石川 真司

設立：1969 年 12 月

事業内容：新聞販売店用顧客管理システム、OA 機器の販売、その他

HP：<https://www.shinbunjihan.com>

株式会社 西日本新聞プロダクツ

本社所在地：福岡県福岡市博多区井相田 2-1-60

代表取締役社長：田川 大介

設立：2021 年 4 月

事業内容：紙媒体制作事業／印刷事業、紙面制作事業

販売店管理事業／新聞販売事業、集中管理事業

商社事業／IT 事業、自振・決済事業、生・損保代理業、商品調達・販売事業、コンタクトセンター事業、その他

HP：<https://www.nishipro.co.jp>

報道関係のお問い合わせ先

日本新聞自動販売 株式会社

営業部 TEL:03-3527-3530

株式会社 西日本新聞プロダクツ

企画部 TEL:092-575-4533

顧客管理システム シンブンエース Raiz 3について、詳細は以下URLをご参照ください。

<https://www.shinbunjihan.com/service.html>

配達管理サービスDelivery Support System(DSS)について、詳細は以下URLをご参照ください。

<https://www.nishipro.co.jp/system/dss>